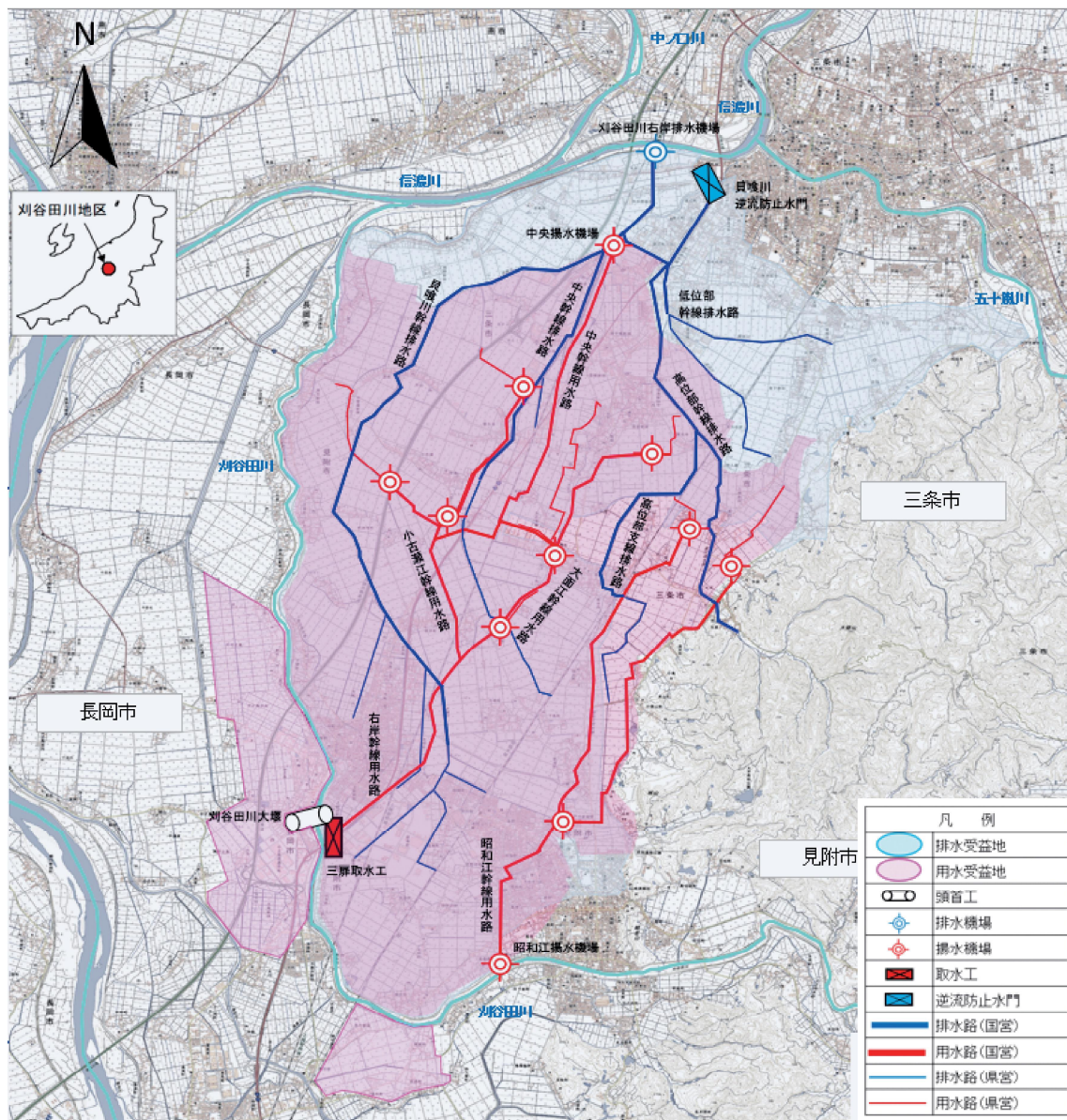


## 国営土地改良事業地区調査 「刈谷田川地区」の概要

### 1 地区の概要

本地区は、新潟県蒲原平野南部の信濃川沿岸に広がる農地面積約4,200haの稲作経営を主体とした農業地帯です。

農業用水は、国営刈谷田川右岸農業水利事業（昭和45年度～61年度）により造成された三扉（さんび）取水工、昭和江揚水機及び中央揚水機により供給されています。また、低平な立地条件のため、各地で湛水被害が生じ乾田化の障害となっていたことから、刈谷田川右岸排水機場を造成し機械排水を行っています。



## 2 地区の課題

農業水利施設造成後約40年以上が経過し、基幹水利施設の老朽化が進行、維持管理に多大な費用と労力を要しており、地域の基幹排水施設である刈谷田川右岸排水機場は耐震性能が不足しています。

各用水ブロックでは、上流優先の水利慣行により、下流部で十分な用水確保ができないことや、近年の電気代の高騰やそれによる輪番かんがいによる管理労力が増大しています。



昭和江幹線用水路  
地盤変状による水路壁ズレ



昭和江揚水機場  
回転体の摩耗



昭和江用水路  
継手の離脱



貝喰川逆流防止水門  
側壁クラック箇所



高位部幹線排水路  
切梁H鋼の腐食



刈谷田川右岸排水機場  
自然排水ゲート腐食

## 3 事業構想

本事業では老朽化した用排水施設の改修に併せて、営農状況の変化等による水需要の変動に対応するため現行の加圧機場による供給主導型から必要な時に取水できる需要主導型へ変更することにより末端加圧機場の廃止を行うとともに、排水機場の耐震対策等を行い、農業用水の安定供給、水管理労力・維持管理費の軽減を図り、農業生産の維持向上、農業構造の改善及び担い手への農地集積の促進に資することとしています。